



あらかまき

荒巻小学校 協働型学校評価の重点目標

- ・荒巻の人たちに気持ちよくあいさつする子ども
- ・みんなのよさを見付ける子ども

の割合を80パーセント以上にする。

・児童数：356名 ・TEL：234-3379 ・ホームページアドレス <http://www2.sendai-c.ed.jp/aramaki/>

令和4年度 学校評価アンケート結果のお知らせ

今年1月に、保護者と児童・教職員、地域代表を対象に実施した協働型学校評価アンケートの集計結果をお知らせします。アンケート結果、学校運営協議会の皆様からいただいた御意見を参考に、次年度の方向性を検討しました。

今年度も、330名を超える皆様から御回答をいただきました。御意見・御提言については、その多くが、学校教育活動への応援等温かい内容で、今後の励みとして大変感謝しております。一方、改善の御指摘については真摯に受け止め、今後の計画策定の参考とさせていただきます。

本校では、今回の結果を踏まえ、今後の指導と令和5年度の教育計画に生かしていく所存です。各御家庭におかれましても、お子さんのよりよい成長にお力添えいただけますようお願い申し上げます。

※保護者と児童アンケートの回答は324名分でした。

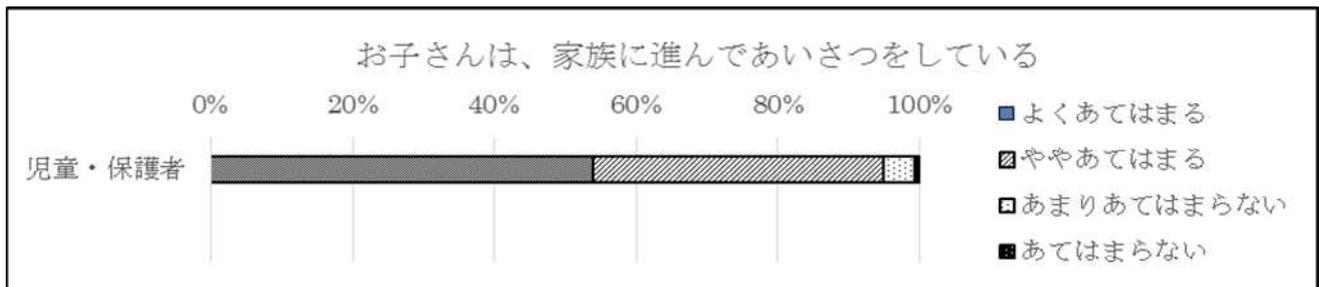
アンケート結果(三者比較)

1 令和4年度協働型学校評価重点目標

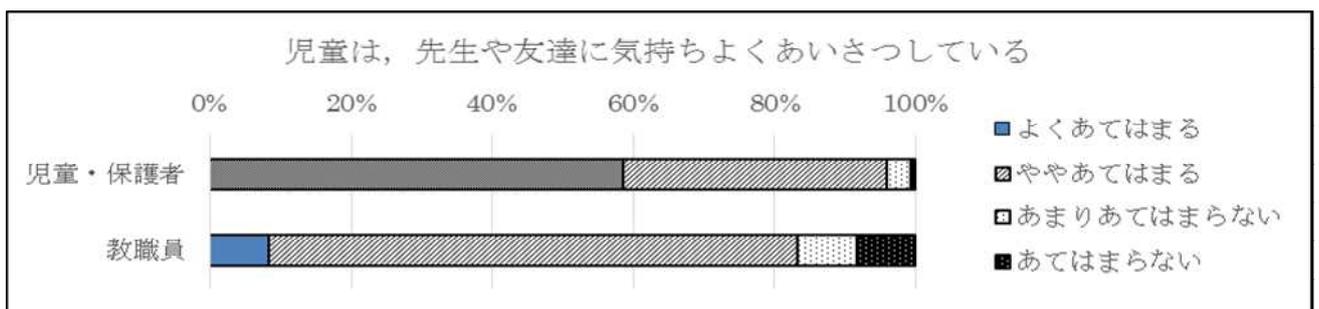
- ・荒巻の人たちに気持ちよくあいさつする子ども
 - ・みんなのよさを見付ける子ども
- の割合を80パーセント以上にする。

(1)重点目標①「荒巻の人たちに気持ちよくあいさつする子供」について

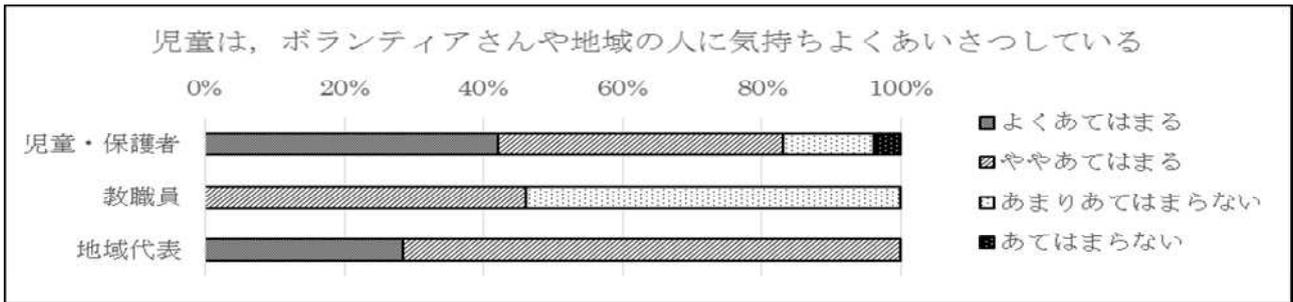
【設問1-(1)】 お子さんは、家族に進んであいさつをしている。



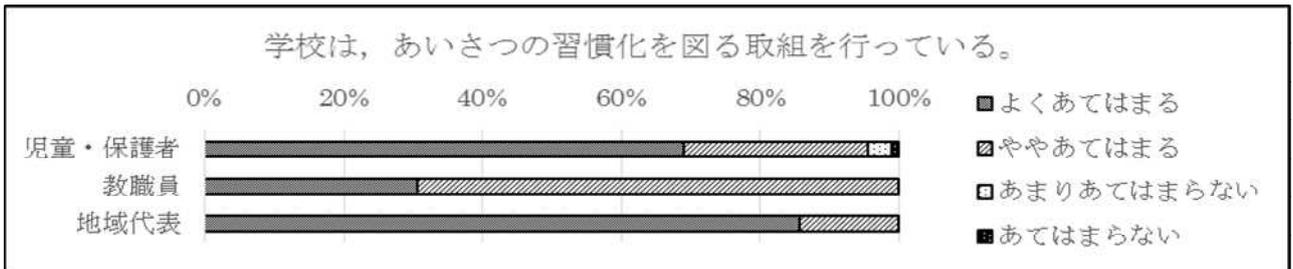
【設問1-(2)】 お子さんは(児童は)、学校で先生や友達に気持ちよくあいさつをしている。



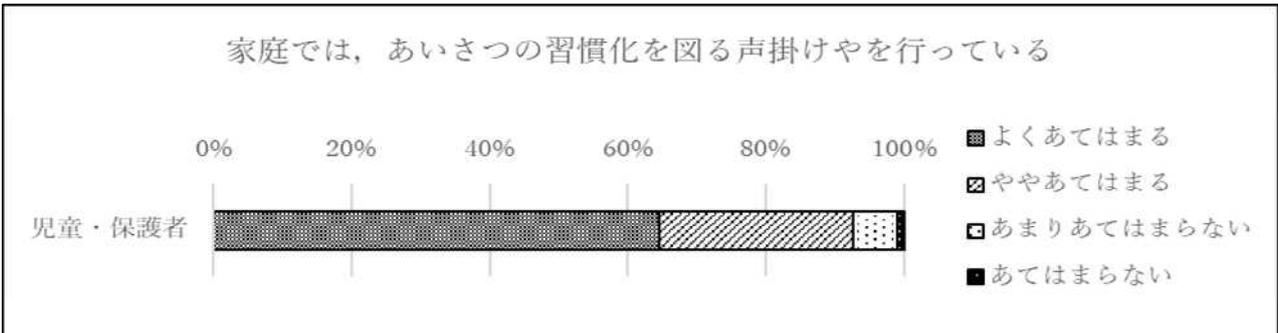
【設問1－(3)】お子さんは(児童は)，ボランティアや地域の人に気持ちよくあいさつをしている。



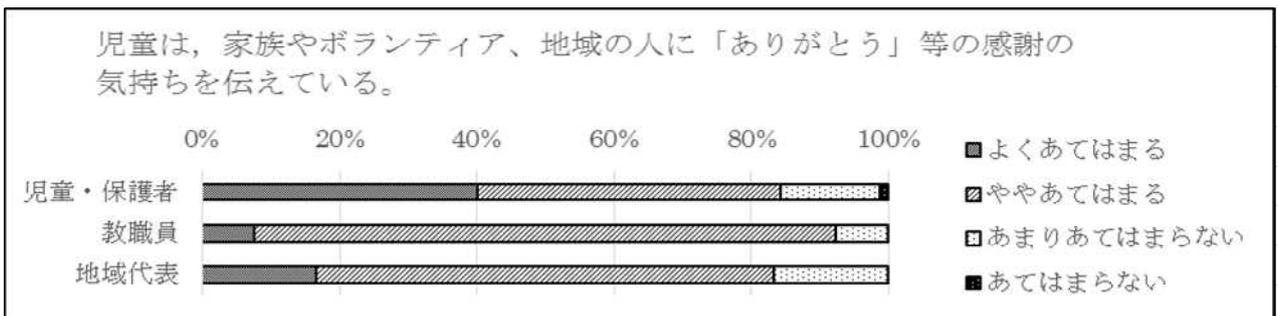
【設問1－(4)】学校は，望ましいあいさつの習慣化を図る取組を行っている。



【設問1－(5)】家庭では，あいさつの習慣化を図る声掛けや取組を行っている。



【設問1－(6)】お子さんは(児童は)，家族やボランティア，地域の人に「ありがとう」等の感謝の気持ちを伝えている。



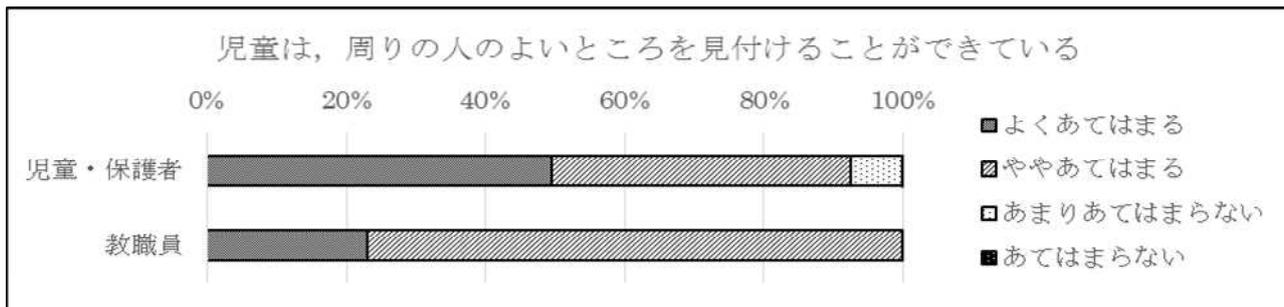
【設問1－あいさつに関して】

あいさつに関する評価は，全ての回答者が「A」「B」の回答を合わせて80%を超えています。御家庭，学校の取組の成果が表れているものと考えます。

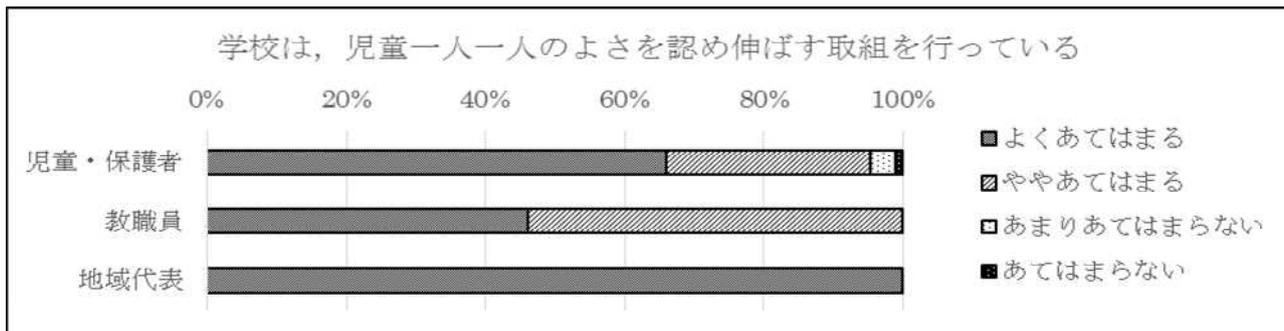
しかし，地域の方へのあいさつや感謝を伝える行動は「B」の評価が多くなりました。コロナ禍の影響でお世話になっている方，見守ってくれている方の顔が子供たちに認識されていないことが原因ではないかと考えます。令和4年度はお世話になっている方への感謝の会を実施します。見守ってくださっている方の顔や，どんなことで助けられているのかなど，子供たちに伝える機会を設けていきます。

(2)重点目標②「みんなのよさを見つける子ども」について

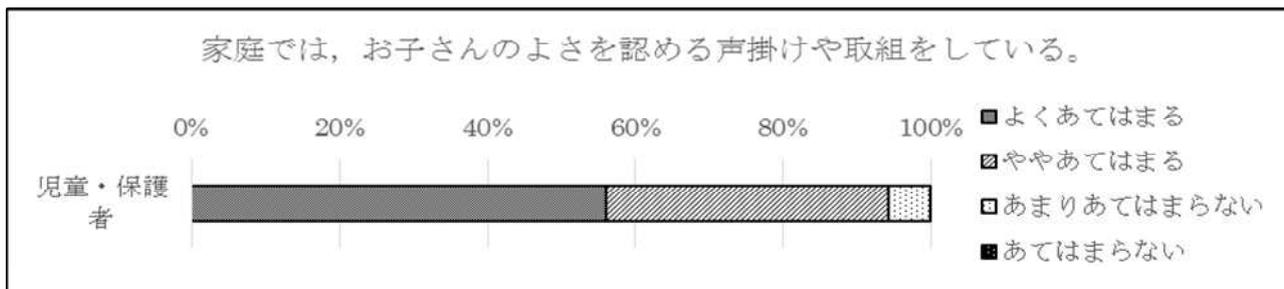
【設問1－(7)】お子さんは(児童は)，周りの人のよいところを見付けることができている。



【設問1－(8)】学校は、児童一人一人のよさを認め伸ばす取組を行っている。



【設問1－(9)】家庭では、お子さんのよさを認める声掛けや取組をしている。



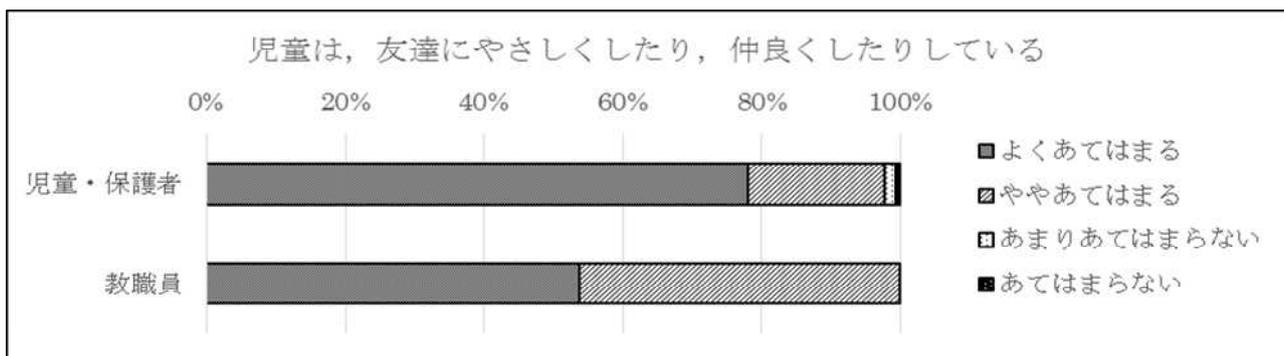
【設問1－「よさを認める」に関して】

「よさを認める」ことに関して、この質問も「A」「B」の評価を合わせると、全ての回答者が80%以上の評価となりました。毎月取り組んできた「いいねカード」，朝の会や帰りの会で取り組んでいる児童の相互評価，児童が率先して，また協力して行ってきた起業教育，道徳の授業研究など，子供たちの思いを育て，互いに認め合う学校・学級へ向かっていることが感じられます。

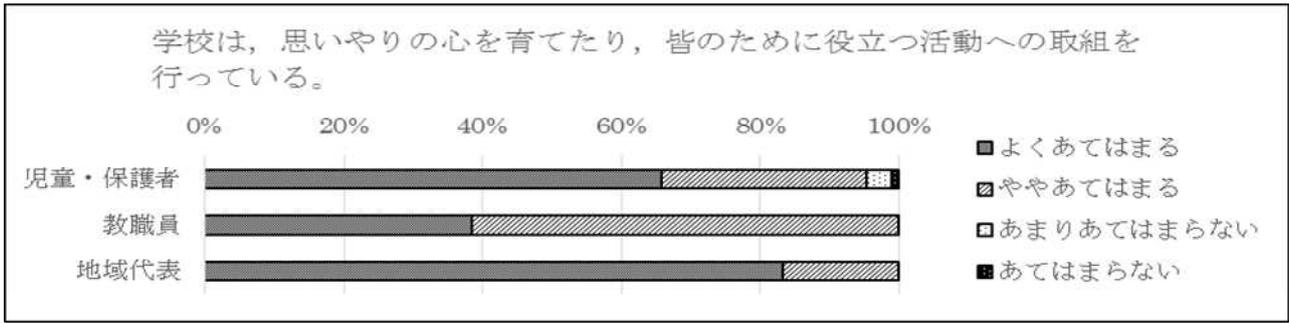
2 学校教育目標「笑顔あふれる楽しい学校」に関して

(1) 一人一人のよさを認め合い，思いやりを持って接する子供「やさしい子」(豊かな心)

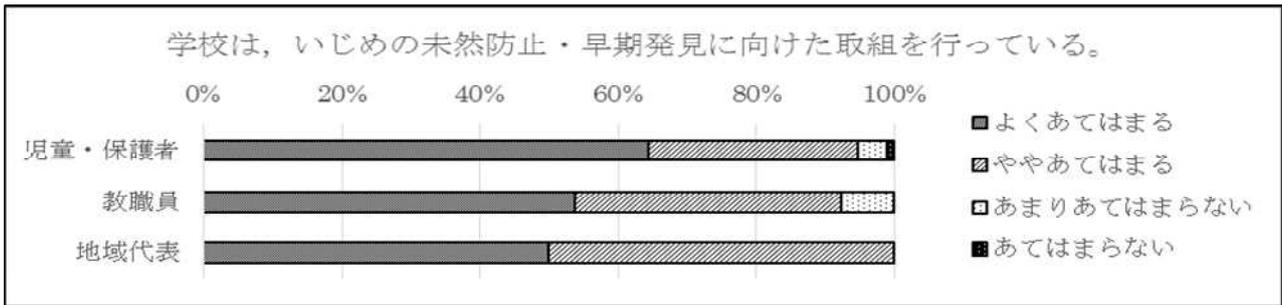
【設問2－(1)】お子さんは(児童は)，友達にやさしくしたり，仲良くしたりしている。



【設問2－(2)】学校は、思いやりの心を育てたり、皆のために役立つ活動への取組を行ったりしている。



【設問2－(3)】学校は、いじめの未然防止・早期発見に向けた取組を行っている。

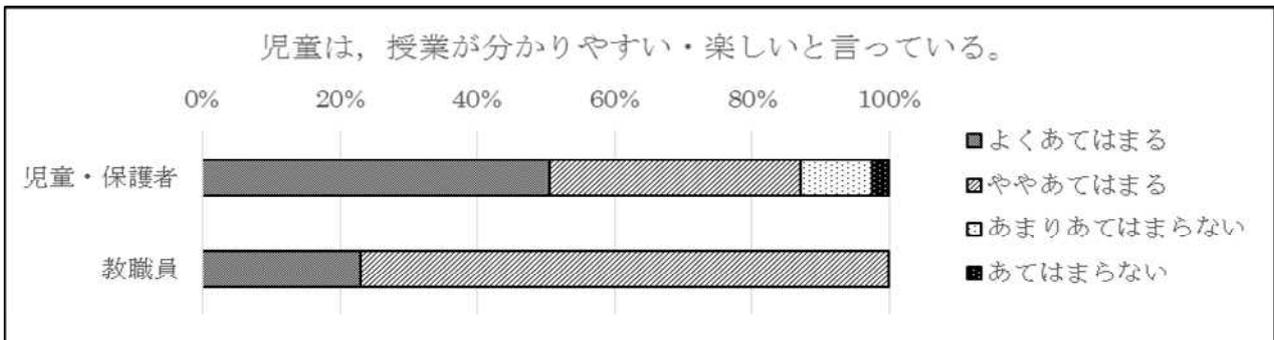


【設問2－「やさしい子」について】

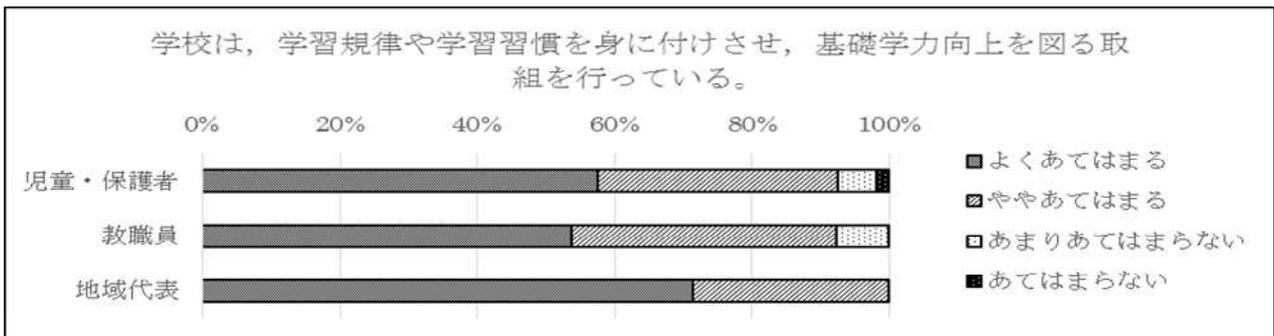
三者とも「A」「B」を合わせると90%以上の結果でした。「縦割り活動」や「荒巻ソーラン伝承会」などの異学年交流、JRC活動や起業教育など、多くの友達や地域の方々などとの交流は子供たちの「やさしさ」を育て、「やさしくしてもらった」という安心感をもたらす活動であったと考えています。今後も、「いじめへの対策」と併せて継続して取り組んでいきます。

(2) 自ら考え、ともに学び合う子ども「かしこい子」(確かな学び)

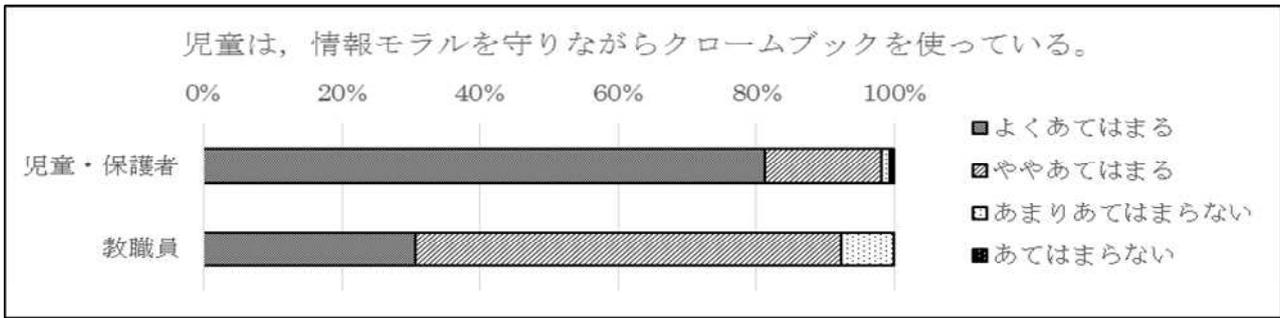
【設問2－(4)】お子さんは、授業が分かりやすい・楽しいと言っている。



【設問2－(5)】学校は、学習規律や学習習慣を身に付けさせ、基礎学力向上を図る取組を行っている。



【設問2－(6)】お子さんは、情報モラルを守りながらクロームブックを学習に使っている。

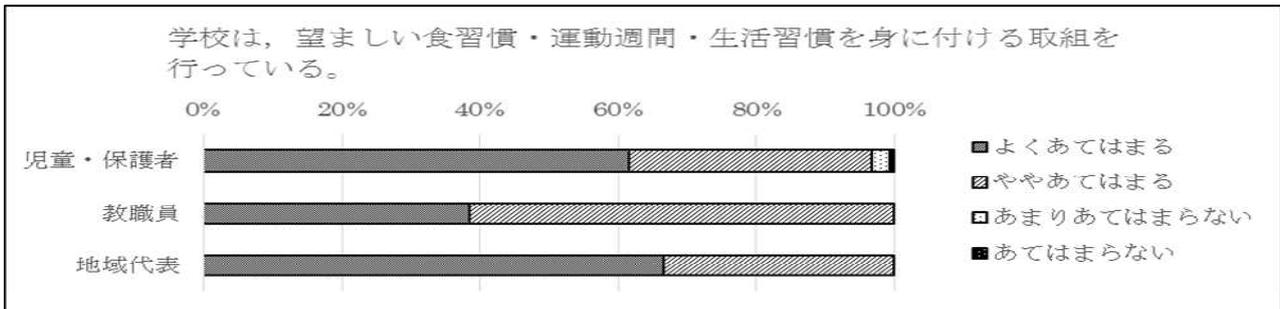


【設問2－「かしこい子」について】

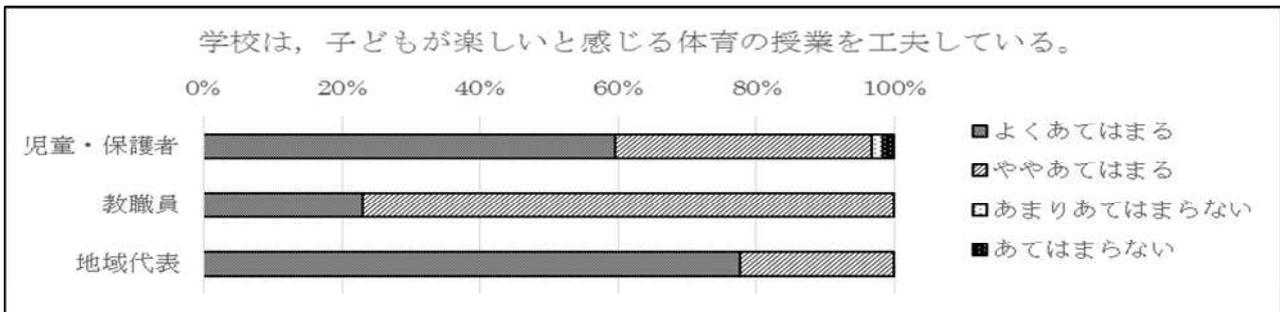
3つの設問に対し、「A」[B]の評価を併せると、80%以上の評価を得ることができました。「授業が分かりやすい・楽しい」に関して、「A」が50%（昨年45%）であったことから、多くの児童が安心して授業に取り組んでいることが分かりました。しかし、「D」評価が2%程度あり、児童の学習意欲の二極化へ向かわぬよう、教職員は今後も授業力向上を目指した研修を深められるよう努力して参ります。クロームブックの活用に関しては、メディアに関する意見と合わせ、今後もルール作りや学習環境を整えて参ります。

(3) 心身ともに健康でたくましい子ども「たくましい子」(健やかな心と体)

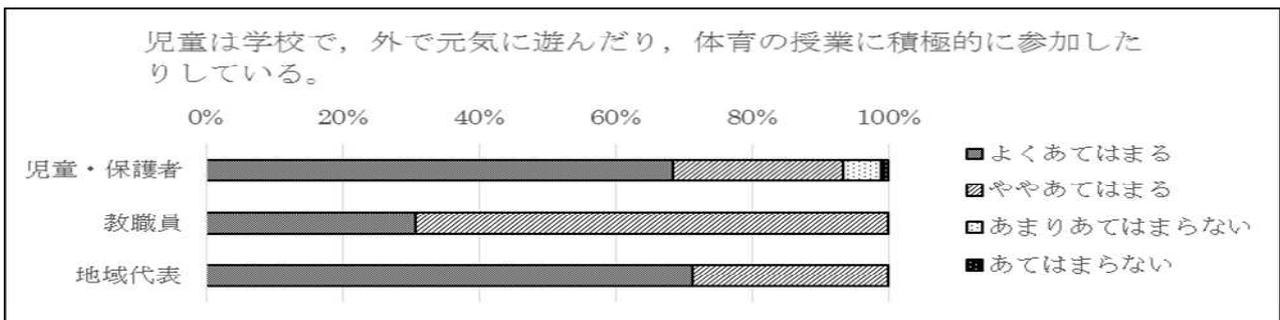
【設問2－(7)】学校は、望ましい食習慣・運動習慣・生活習慣を身に付ける取組を行っている。



【設問2－(8)】学校は、子どもが楽しいと感じる体育の授業を工夫している。



【設問2－(9)】お子さんは学校で、外で元気に遊んだり、体育の授業に積極的に参加したりしている。

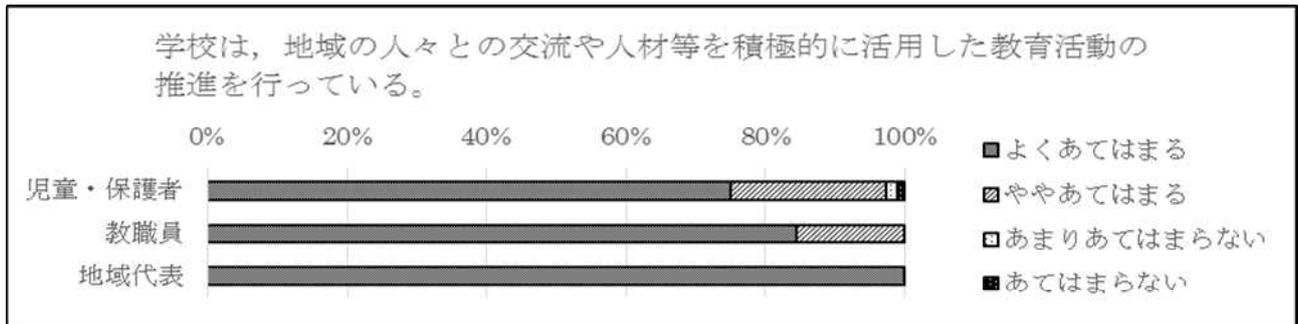


【設問2－「たくましい子」について】

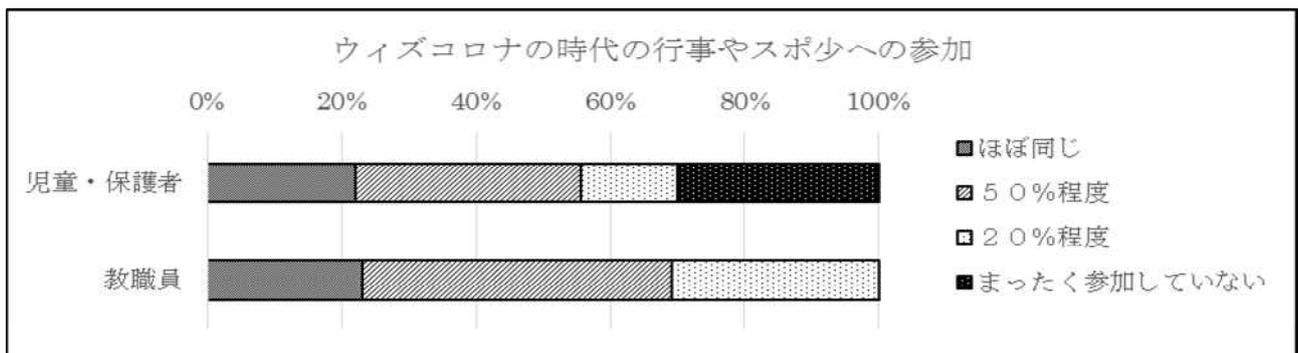
三者とも、「A」「B」の評価が90%以上となりました。体育の授業や外遊びを通して、体を動かす事に意欲的に取り組んでいることが分かります。授業づくりにおいては、夏季休業中や放課後に校内で研修を行ってきました。これからも、子供たちが運動の特性に触れ、楽しく授業に取り組めるよう努力して参ります。また、食の指導においては、日々の給食指導と併せて、給食センターと事業と連携を図り、食事を取ることの大切さを学んでいくことができるよう計画をして参ります。

3 地域連携について

【設問3－(1)】学校は、地域の人々との交流や人材等を積極的に活用した教育活動の推進を行っている。



【設問3－(2)】ウィズコロナの時代に入り、子どもたちが参加する地域やスポ少の行事が少しずつ開催できるようになってきました。お子さんは以前と比べ、どの程度参加できるようになったと感じますか。

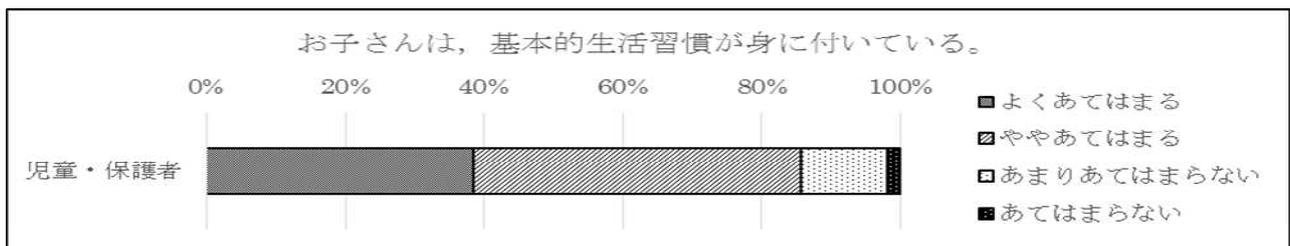


【設問4－地域連携について】

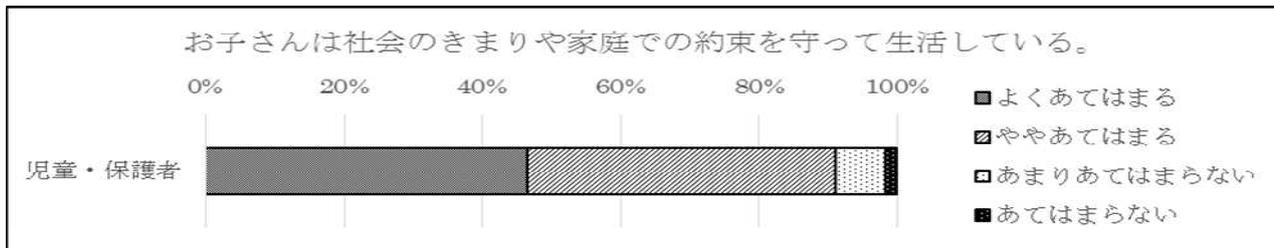
荒巻小学校では、長年、学校支援地域本部を中心に地域との連携を図って参りました。多くの子供たちが、そして保護者の皆さんがこのことを実感していることが分かるアンケート結果でした。大きなイベントだけでなく、日々の学習にもたくさんの地域の方が参加しています。今後も、子供たちの健やかな成長のためお力添えいただけるよう連携を図って参ります。

4 生活習慣について

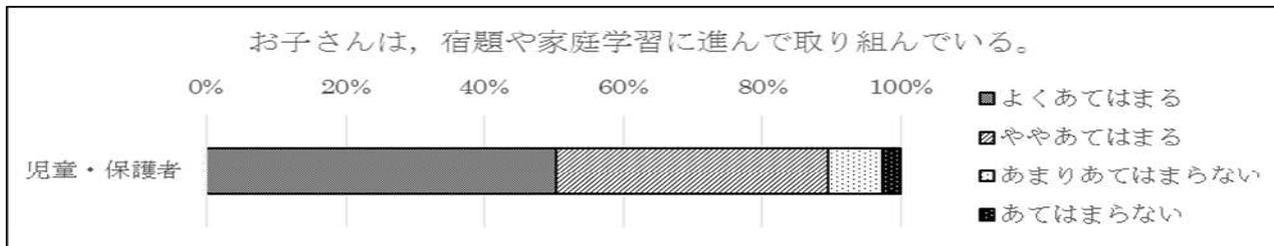
【設問4－(1)】お子さんは、基本的な生活習慣（『早寝・早起き・朝ごはん』等）が身に付いている。



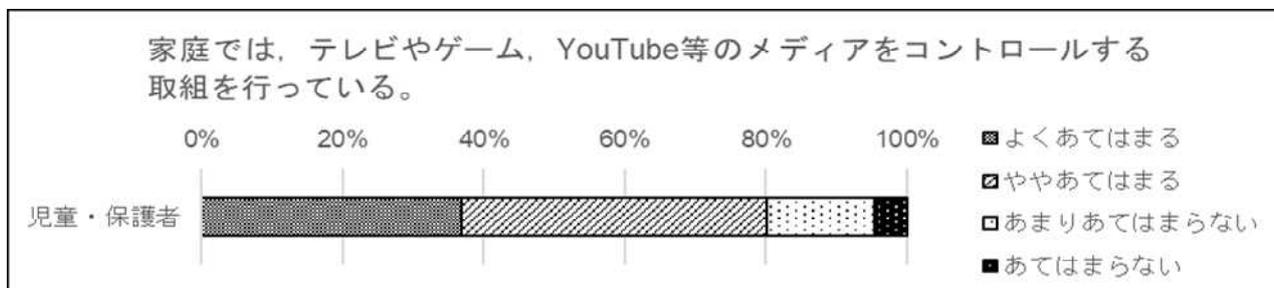
【設問4－(2)】お子さんは、社会のきまりや家庭での約束を守って生活している。



【設問4－(3)】お子さんは、宿題や家庭学習に進んで取り組んでいる。



【設問4－(4)】家庭では、テレビやゲーム、YouTubeなどのメディアをコントロールする取組を行っている。



【設問4－生活習慣について】

生活習慣については、各家庭での約束等を守って、児童が生活している様子が分かります。今年度初めて設置した「メディア」に関する設問は、20%程度の家庭で「C」「D」評価となりました。自由記述欄に御記入いただいた内容を参考に、今後のメディアとの関わり方、また、クロームブックを活用しての学習の在り方を検討して参ります。

5 成果と課題

(1) 成果

- ・「ウイズコロナ」に関する設問以外は全て、「A」「B」評価が80%以上であった。
- ・協働型学校評価重点目標の「あいさつ」や「よさを見付ける」に関して、学校での取組や家庭地域と連携した取組について多くの支持を得ることができた。
- ・自由記述の欄より、地域との連携が、子供たちの学習が充実させていること・保護者の皆さんの安心を高めていることなど、改めて実感することができた。

(2) 課題

- ・地域の皆さんへのあいさつは、学校運営協議会でも話題になりました。コロナ禍で地域の行事が減り、お互いに顔が分からないのでは、という意見が出されました。今後、授業場面での紹介、感謝の会等、子供たちが相手意識をしっかりと持てるような取組を行って参ります。
- ・メディアコントロールについて。「A」「B」評価が多かったのですが、記述欄には様々な意見が記入されています。クロームブックの活用場面も増えます。どのような利用の仕方がよいのか、学校・保護者・地域、三者が一緒に考える場面を増やしていきたいと考えています。